2025年3月期 第3四半期



縫 決 算 説 明 会 資 料

2025年2月7日 アリアケジャパン株式会社(証券コード2815)

目 次

02-04 2024年12月期決算のポイント(連結・単体) 20 設備投資の推移(連結・単体)

05-06 グループ別売上高(対前年実績比較)

07-08 グループ別営業利益(対前年実績比較)

09-10 海外グループ会社状況(アジア・欧州)

11-15 アリアケジャパン単体状況

16 売上高推移(単体·連結)

17 営業利益推移(単体·連結)

18 経常利益推移(単体·連結)

19 親会社に帰属する当期純利益推移

21 減価償却費の推移(連結・単体)

22 当期計画

23-24 中期3年事業計画

25-26 アリアケジャパン成長のビジョン

27 アリアケグループ「世界 7 極体制」

〔補足資料〕 決算のポイント

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2024年度12月期決算ポイント (要約)

項目	実績	前年	前年増減	前年比
連結売上	488.7	447.0	+41.7	+9.3%
連結営業利益	81.7	63.5	+18.3	+28.8%
連結経常利益	88.9	66.1	+22.8	+34.5%
連結純利益	60.1	44.4	+15.7	+35.3%
単体売上	363.4	337.4	+26.0	+7.7%
単体営業利益	58.4	43.5	+15.0	+34.4%
単体経常利益	67.6	46.1	+21.5	+46.6%
単体純利益	47.4	33.0	+14.4	+43.5%

※単位は億円 四捨五入して記載 前年比は、%表記

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2

2

2024年12月期決算のポイント(連結)

□ 売上、営業利益は、増収増益

売上高488.7億円(対前年+41.7億円+9.3%)

営業利益81.7億円(対前年+18.3億円+28.8%)

営業利益率16.7% (対前年+2.5ポイント)

海外子会社125.3億円(対前年+15.7億円+14.3%)

アジア及び欧州とも増収増益でした。欧州が売上伸長、中国、台湾が3Q売上減。

海外子会社営業利益23.3億円(対前年+3.3億円+16.5%)営業利益率18.9%

□ 経常利益·純利益

デリバティブ評価損の減少により、経常利益は88.9億円(対前年+22.8億円+34.5%) 純利益は60.1億円(対前年15.7億円+35.3%)

□ 2025年3月期 業績予想(修正なし)

売上628億円(+4.7%)営業利益99億円(+14%)(営業利益率15.8%) 経常利益114億円(+6.4%) 純利益78億円(+6.1%)

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

3

2024年12月期決算のポイント(単体)

□ 売上、営業利益は、増収増益

売上高363.4億円(対前年+26.0億円+7.7%) 外食好調で売上牽引、CVSも復調 営業利益58.4億円(対前年+15.0億円+34.4%) 大幅利益改善 営業利益率16.1%(対前年3.2ポイント改善)

価格改訂、コストダウン効果により営業利益額・率が改善

□ 経常利益·純利益

経常利益は67.6億円(対前年+21.5億円+46.6%) 純利益は47.4億円(対前年+14.4億円+43.5%) デリバティブ評価損の減少によるもの。

□ 2025年3月期 業績予想(修正なし)

売上460億円(+2.9%)営業利益69億円(+17%)営業利益率15.0%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

4

4

[グループ別] 売上高(対前年実績)

※子会社は連結調整後	ċ
------------	---

(単位:億円)

	A 1210X-11	\ .	12 · 1/00/1 37			
		2025/3期	2024/3期	増減「		
		3Q (A)	3Q (B)	「A-B)	%	為替中立
アリア	アケジャパン	363.4	337.4	26.0	7.7%	-
子会	社計※	125.3	109.6	15.7	14.3%	14.5%
	アジア	71.8	70.7	1.1	1.6%	2.5%
	欧 州	51.2	36.6	14.6	39.7%	38.5%
	日 本	2.3	2.3	0.0	0.9%	-
連絡	洁	488.7	447.0	41.7	9.3%	10.5%
	EUR 人民元	159.43 20.46	158.00 20.46	1.43 0.00		

 EUR
 159.43
 158.00
 1.43

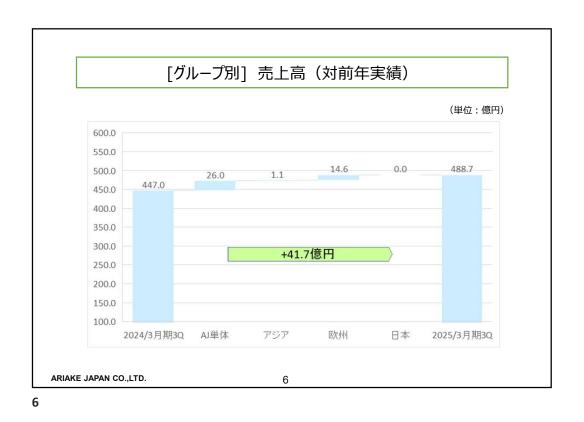
 人民元
 20.46
 20.46
 0.00

 台湾ドル
 4.51
 4.63
 △ 0.12

 ルピア
 0.0095
 0.0097
 △ 0.0002

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

5



[グループ別] 営業利益(対前年実績)

※子会社は連結調整後			(単位:億円)

		2025/3期	2024/3期	増 減		
		3Q (A)	3Q (B)	(A-B)	%	為替中立
アリ	アケジャパン	58.4	43.5	15.0	34.4%	-
子会	社計※	23.3	20.0	3.3	16.5%	17.2%
	アジア	17.6	16.7	0.9	5.6%	6.8%
	欧 州	5.6	3.2	2.4	73.7%	72.2%
	日本	0.1	0.1	0.0	0.0%	-
連	結	81.7	63.5	18.3	28.8%	29.0%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.



海外グループ会社の状況 (アジア)

8

□中国:減収増益

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

- 2Qまでは前年のコロナ禍による大幅減から回復しましたが、3Qに入り不動産不況、景気後退による消費控えが顕著に現れ、売上は対前年0.4%減、営業利益は7.4%増となりました。
- 新規顧客、新規案件の開拓に取り組みます。特に、最終B2C製品の販売に注力すべく流通向け調理製品(予製菜)を開発し、製品化が進行しています。(12月から生産開始)

□台湾:減収増益

- ・ 売上は対前年0.5%減、営業利益は7.5%増となりました。
- 複数回に渡る台風の襲来、麺の売上減などにより、3Qの売上が減少しました。

□インドネシア:増収減益

- ・ 売上は対前年84%増、一方営業利益は31%減となりました。
- アリアケジャパン向け輸出を調整した一方、インドネシア国内、ASEANへの輸出に注力しました。グループ外売上比率は、前年3Qの32%から50%へ大幅に伸長致しました。一方、国内製品の利益率が低く、減益となりました。今後国内製品の価格改訂、コストダウン等による利益改善に取り組みます。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

9

海外グループ会社の状況(欧州)

□ベルギー:増収減益

- 既存製品のEU圏内での販売増により売上は対前年162%増、一方で営業利益はUHT 設備の減価償却増により、2.8億円の営業赤字(対前年-0.67億円)となりました。
- 2023年末から、UHT製品の販売を開始致しましたが、売上実績は計画を下回り、販売・管理体制の強化、販促の実施、製品の追加等を進めます。

□フランス:増収増益

- ・EU圏内での販売促進により、売上は対前年32%増、営業利益は185%増となりました。
- ユーティリティコスト増が緩和され、日本向け輸出量の調整が終了し、生産増となり利益増となりました。通期赤字計画を3Qで黒字転換できました。スプレー粉末製品の販売は、工業向けを中心にサンプルを提出し、商談進行中です。長年の販売ルートを有するオランダ(ヘニングセン)との販売提携を行い、グループシナジー効果を期待しています。

□オランダ(ヘニングセン): 増収増益

• 長年の実績をベースに堅調な売上と営業利益です。売上は対前年11.6%増、営業利益は46%増となりました。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

10

10

[アリアケジャパン単体]カテゴリー別売上比率及び増減

カテゴリー	売上比率	前年比増減
食品メーカー	20%	+7%
外食	46%	+12%
cvs	33%	+3%
輸出	1%	0%
合計	100%	+7. 7%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

11

[アリアケジャパン単体] 利益変動要因(対前年比較)

■**営業利益 5,840百万円** 前年比1,495百万円(+35.4%)

(単位:百万円)



■**経常利益 6,763百万円** 前年比 +2,149百万円(+46.5%)

	(単位:百万円)
営業利益増加	1,495
受取配当金他	103
為替差益	△ 450
貸倒引当金繰入	△ 111
デリバティブ評価損の減	1,112
△ =1	2140

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

増加要因 減少要因

12

12

アリアケジャパン単体の状況

□売上

- 人流回復、人手不足需要、インパウンド効果などにより、外食需要は引き続き活発で、対前年 同時期比12%増となりました。
- ・加工食品メーカー向けは値上げ効果および節約志向などによる需要増で同7%増となりました。
- ・CVS向けは、当社の強みを活かした製品の提案により売上が回復し、同3%増となりました。
- 引き続き、提案営業を継続し、売上拡大を図ります。B2C製品、プラントベース製品の拡販、 外食企業の海外進出に対するフォロー、スーパー業態への拡販など売上拡大を図ります。

□利益改善

- 原料、包材、運賃値上がり、円安の進行など利益悪化要因が引き続きありますが、今期計画 営業利益率15%の達成に向けて、工場におけるVA、工程改善によるコストダウン、営業おける 利益改善(価格改訂、リニューアル)を推進いたしております。
- 営業の利益改善計画22.6億円(今期内寄与額)に対し達成見込額22億円(97%)です。3Q売上増に占める価格改訂の効果は約42%でした。(販売価格対前年単純比較)
- ・工場のコストダウン計画約26億円に対し、12月までの達成額は33.2億円(125%)です。
- 3Qにおける対前年比、販売数量の増減は+3.0%、販売単価の増減は+4.6%でした。 (40:60)
- 4~12月単月の営業利益率は、すべての月で対前年を上回り、3Q単では18.6%でした。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

[アリアケジャパン単体] 売上利益比較

売上(百万円)

期	1q	2q	2q累計	3q	3q累計	4q	4q累計
2024年3月期	10,098	10,934	21,031	12,706	33,737	10,963	44,701
2025年3月期計画	10,375	11,530	21,905	12,988	34,893	11,107	46,000
2025年3月期実績	10,829	11,906	22,734	13,605	36,339		
営業利益(百万円)							
2024年3月期	1,198	1,250	2,448	1,896	4,345	1,579	5,924
2025年3月期計画	1,381	1,697	3,078	2,240	5,318	1,582	6,900
2025年3月期実績	1,510	1,803	3,313	2,528	5,840		
営業利益率(%)							
2024年3月期	11.9	11.4	11.6	14.9	12.9	14.4	13.3
2025年3月期計画	13.3	14.7	14.1	17.2	15.2	14.2	15.0
2025年3月期実績	13.9	15.1	14.6	18.6	16.1		

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

14

14

プラントベース製品の拡販

□大豆でつくったマヨネーズタイプ B2B、B2Cで営業中

- 動物系原料を一切使用していない植物生まれのヘルシーマヨタイプです。 一般的に、市販されているマヨネーズの脂肪分は70%前後です。本品は、脂肪分は17%と低く、一般的なマヨネーズと比べたん白は同等レベルで、カロリーは約1/3です。
- 本品は、大豆を丸ごと使用し、おからごときめ細かく磨砕した濃厚なベースを原料としております。 おからも丸ごと使用しているため、大豆の栄養素を余すことなく使用しております。 また、SDGsの観点から、廃棄物のないサーキュラーエコノミーに取り組んでおります。

□アニマルフリーのラーメンスープ







大豆マヨネーズタイプ



九州豚骨ラーメンTaste 東京担担麺Taste

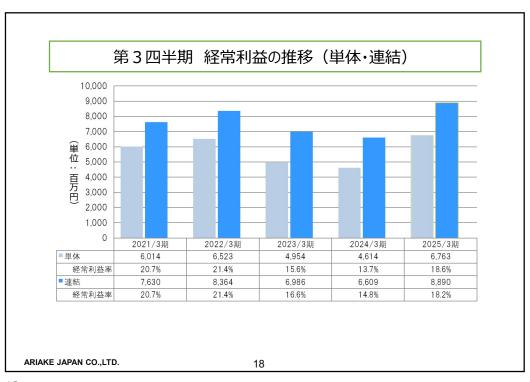
スプレッドタイプバリエーションも多種開発中です。

動物由来原料を一切使用せず大豆のコクと旨味を活かした濃厚なアニマルフリーラーメンです。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.













当期計画(地域別)

※子会社は連結調整後

(単位:億円)

W. J. Z. L. O. Z. L.									
				売上高		営業利益			
			2025/3期	2024/3期	増減	2025/3期	2024/3期	増減	
			計画 (A)	実績(B)	A-B	計画 (A)	実績(B)	A-B	
アリア	⁷ ケジ†	パン	460	447	13	69	59	10	
子会	社 計	t	168	147	22	30	27	3	
	アミ	ブア	109	95	13	26	23	3	
	欧	州	57	54	2	4	4	△ 1	
	日	本	3	3	△ 0	0	0	△ 0	
連絡	吉		628	600	28	99	87	12	

157.12 **EUR** 157.12 0.00 19.93 人民元 19.93 0.00 台湾ドル 4.62 4.62 0.00 0.009 0.009 0.000 ルピア

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

22

22

中期3年事業計画

□ 連結

3年後の2026年度(2027年3月期)の連結売上高は705億円(海外売上高比率32%)、営業利益率19.5%を目指します。従来のB2B事業に加え、中国、ベルギーを主体に消費者向けのB2C製品の販売を強化し、売上増を図ります。

2026年度の営業利益率は19.5%を計画しております。

□ 単体(アリアケジャパン)

国内は、外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、当社の強みを活かした製品の積極的な提案営業を行い、着実な売上増を図ります。製品の価格改訂、リニューアル、原材料費、水道光熱費等のコストダウンを着実に実行し、段階的に営業利益率の改善を図ります。2026年度の営業利益率は19.0%を計画しております。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

23

中期3年事業計画

(単位:億円)

		実	実 績		計画		
		2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期	
	単体	427	447	460	470	480	
売上	連 結子会社	169	192	203	233	267	
上高	連 結 調 整	△ 39	△ 39	△ 35	△ 40	△ 42	
	連結売上高	557	600	628	663	705	
営	単体	57	59	69	80	91	
業利	連 結 子会社	27	27	30	40	47	
益	連結営業利益	84	87	99	120	138	

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

24

24

アリアケグループ成長のビジョン

□ 連結

成長戦略を推進し、特に成長余地の大きい海外グループ会社の売上を伸長させ、 2030年には、2023年度の1.7倍の連結売上1000億円を目指します。

□ 海外

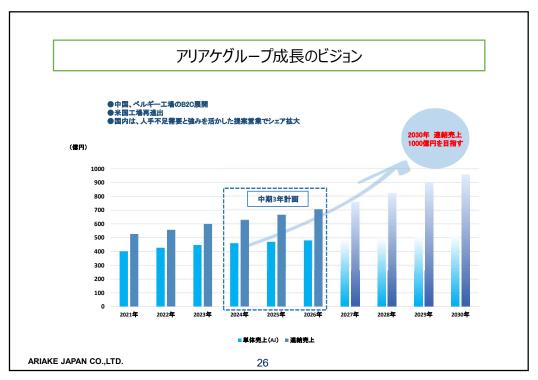
海外グループ売上を2030年度に2023年度153億円の3倍以上を目指します。中国、ベルギーは、従来のインダストリー、フードサービス向けB2B事業に加え、消費者向けB2C製品の販売を強化致します。さらに新たに米国工場の建設を行い、B2C製品を主体とした新規開発品の製造販売を行います。

□ 単体 (アリアケジャパン)

外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、 積極的な提案営業を行うことでシェアを拡大し着実な売上増を図ります。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

25





- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- ・ 本資料に記載されている業績予想(計画)及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

28

(単位:百万円)

第47期(2024年4月1日から2024年12月31日まで) 第3四半期 決算のポイント(単体)

主要資産・負債等

総資産

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(1)-2)	2024年3月期③	(1-3)
総資産合計	118, 453	115, 012	3, 441	116,096	2, 356

流動資産

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(1)-2)	2024年3月期③	(1-3)
流動資産合計	54, 948	56, 972	-2, 024	52,781	2, 167
現金及び預金	34, 076	34, 986	-910	33,413	664
棚卸資産	7, 342	8, 709	-1, 367	7,843	-501
受取手形·売掛金	11, 696	11, 262	434	9.698	1. 998

<u>有形固定資産</u>

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(1)-2)	2024年3月期③	(①-③)
有形固定資産合計	11, 039	11, 597	-557	11,462	-422
償却資産	6, 945	7, 431	-486	7,347	-402
土地	4, 047	4, 047	0	4,047	0
建設仮勘定	48	119	-71	68	-21

投資等

<u>1又貝寸</u>					
	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(1)-2)	2024年3月期③	(1)-3)
投資等合計	52, 422	46, 396	6, 026	51,809	613
投資有価証券	32, 290	26, 602	5, 688	31,511	780
関係会社株式	12, 051	12, 051	0	12,051	0
関係会社貸付金	3, 738	3, 230	508	3,792	-53
子会社出資金	1, 147	1, 147	0	1,147	0
長期預金	3, 000	3, 000	0	3,000	0

資本勘定 (株主資本)

	当第3四半期末①	前第3四半期末②	(1)-2)	2024年3月期③	(1-3)
純資産合計	105, 583	101, 605	3, 977	103,796	1, 787
資本金	7, 095	7, 095	0	7,095	0
資本剰余金	7, 958	7, 958	0	7,958	0
利益剰余金	84, 618	81, 128	3, 490	83,383	1, 235
自己株式等	△ 2,045	△ 2,044	-1	△ 2,044	-1
評価・換算差額	7, 957	7, 468	489	7,403	554

232

247

設備投資・減価償却費

設備投資 減価償却費								
				減価償却費				
		単体					単体	連結
	単体合計	第1工場	第2工場	パックセンター	その他	連結	半平	進和
第42期(2020年3月)	639	54	557	27	1	1, 616	964	1, 597
第43期(2021年3月)	1, 238	755	463	19	1	1, 846	911	1, 505
第44期(2022年3月)	744	117	549	66	12	2, 118	968	1, 737
第45期(2023年3月)	841	96	701	44	0	3, 018	981	1, 784
第46期(2024年3月)	1,573	477	995	94	7	3,028	1,040	1,950
第47期第2四半期(2024年12月)	363	132	223	8	0	569	799	1, 557

(単位:人) 当第3回半期 前第3回半期 男 560 543 女 152 143 計 712 686

関係会社業績 〔連結調整前〕

臨時(外数)アルバイトを含む

<u>関係会社業績 〔連結調整則〕</u>											
		売_	上高	経常	利益	当期	利益	設備	投資	減価値	賞却費
		当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期
	(換算レート)	(@20. 46)	(@20. 46)								
青島有明食品有限公司	千元	232, 253	238, 432	52, 939	48, 776	39, 704	36, 582	4, 510	15, 582	6, 997	6, 662
	百万円	4, 752	4, 878	1, 083	998	812	748	92	319	143	136
	(換算レート)	(@4. 51)	(@4. 63)								
台湾有明食品股份有限公司	千元	562, 704	548, 332	168, 570	157, 681	130, 620	122, 515	116	2, 565	24, 014	2, 565
	百万円	2, 538	2, 539	760	730	589	567	1	12	108	12
	(換算レート)	(@159. 43)	(@158. 00)								
F.P. Natural Ingredients SAS	チューロ	8, 432	10, 175	195	707	195	702	238	738	586	566
	百万円	1, 344	1, 608	31	112	31	111	38	117	93	89
	(換算レート)	(@159. 43)	(@158. 00)								
ARIAKE EUROPE NV	チューロ	13, 953	13, 466	-175	453	-159	469	328	5, 125	2, 155	1, 453
	百万円	2, 224	2, 128	-28	72	-25	74	52	810	344	230
	(換算レート)	(@159. 43)	(@158. 00)								
Henningsen Nederland BV	チューロ	17, 968	16, 257	4, 853	3, 931	3, 611	2, 927	42	132	136	338
	百万円	2, 865	2, 569	774	621	576	462	7	21	22	53
	(換算レート)	(@0. 0095)	(@0. 0097)								
PT. Ariake Europe Indonesia	百万ルピア	53, 499	52, 365	2, 005	6, 588	2, 005	6, 588			5	5
The fundamental language in action to	百万円	508	508	19	64	19	64	16	4	48	48

損益計算書関係

<u>品種別売上高</u>

	当第3四半期	前第3四半期	増減	対前年比
売上高	36, 339	33, 737	2, 602	107. 7%
液体スープ	2, 505	2, 435	70	102. 9%
液体調味料	29, 175	26, 835	2, 340	108. 7%
粉体調味料	3, 083	2, 923	160	105. 5%
その他	1, 575	1, 544	31	102. 0%

販売費及び一般管理費

	当第3四半期	前第3四半期	増減
販売費及び一般管理費	5, 022	4, 643	379
(%)	13. 82%	13. 76%	
販売費	3, 056	2, 786	270
労務費	868	830	38
固定費	755	744	12
技術開発費	342	326	17

営業利益

<u> — жилш</u>			
	当第3四半期	前第3四半期	増減
営業利益	5, 840	4, 345	1, 496
対売上高比(%)	16. 07%	12. 88%	

営業外損益

	当第3四半期	前第3四半期	増減
営業外損益	923	270	653
営業外収益	1, 203	1, 554	△ 351
配当金	573	528	45
家賃収入	22	23	△ 1
為替差益	284	735	△ 451
受取利息	257	164	93
その他	67	104	△ 36
営業外費用	280	1, 284	△ 1,004
為替差損	0	0	0
デリバティブ評価損	164	1, 276	△ 1, 112
その他	116	8	108